

大槌町社協だより

心つなぐべし おおつち

ボランティア活動者数 延べ 81,054 人、ボランティア活動件数 延べ 8,717 件(12/16 現在)

3.11 実行委員会からのお知らせ

大槌町 NPO・ボランティア団体連絡協議会（ボラ連）では、毎年3月11日に東日本大震災追悼イベント『3.11集い～灯火～』を実施しており、今年度も実行委員会を立ち上げ、準備を進めています。開催にあわせて、鮭形のメッセージカードにみなさんの想いを書き込む『メッセージ作成会』を開催します。

みなさんからのメッセージは、3月11日のイベント会場内に展示します。ぜひ、ご参加ください。

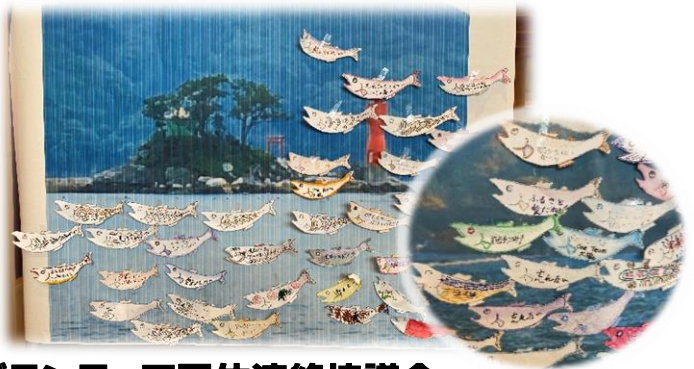
❖メッセージ作成会の開催❖

日時 令和4年1月23日（日）

午前10時～午後1時

会場 おしゃっち1階

エントランスホール



お問合せ先:大槌町 NPO・ボランティア団体連絡協議会
事務局 大槌町社協ボランティアセンター ☎0193-41-1555

レクリエーション・キャップハンディ体験サポーター講習の実施報告

11月3日（水・祝）に大槌町中央公民館安渡分館で、「レクリエーション・キャップハンディ体験サポーター講習」を開催しました。町内会や地域で活動している団体から23名が参加しました。

キャップハンディ体験では、車いすや白杖の使用方法を学び、障がいに対する理解を深めました。初めて車いすや白杖に触れる方も多く、参加者から質問や意見が多く挙がりました。レクリエーション体験では、「闘球盤」の体験を行いました。参加者からは、「とても貴重な体験でした」「楽しみながら学ぶことができた」「闘球盤をまたやってみたい」などの声がありました。受講後は16名の方がサポーター登録を行い、今後は登録サポーターと一緒に、地区お茶っこの会をはじめ、様々な地域活動のお手伝いを行います。

今後もボランティアセンターではサポーター講習を定期的開催いたしますので、ぜひご参加ください。



キャップハンディ体験



レクリエーション体験（闘球盤）



お問合せ先 大槌町社協ボランティアセンター ☎0193-41-1555

大槌学園 8 年生 キャップハンディ体験学習(車イス・白杖・高齢者疑似体験)

10月19日(火)、大槌学園8年生69名を対象に、キャップハンディ体験の学習指導を行いました。当日は職員のほかに、昨年度の「キャップハンディ体験サポーター講習」を受講したサポーター5名にお手伝いをいただきました。

授業では、「車イス体験」「白杖体験」「高齢者疑似体験」の中から、生徒が希望した内容に分かれて体験し、理解を深めました。体験後は、グループごとに「体験してみたの感想」、「障がいのある方や高齢の方が地域で暮らしているときの様子(イメージ)」、「自分たちにもできること」について話し合いを行いました。参加した生徒からは「地域で困っている人がいたら自分から声を掛ける」「普段の生活から地域の方々とつながりを持てるようあいさつから始めてみたい」など、様々な意見が出されました。

生徒にとっては、日常生活の当たり前を見直し、相手の立場になって考えることの必要性に気付く良いきっかけとなりました。キャップハンディ体験学習のご要望があれば、地区や企業・団体単位で開催することができます。ボランティアセンターまでお気軽にご相談ください。



白杖体験「階段の昇り降り」



車イス体験
「上り坂を登ってみよう」



グループごとの話し合い

お問合せ先 大槌町社協ボランティアセンター ☎0193-41-1555



皆さまのあたたかい善意に 感謝します

～【令和3年7月豪雨災害義援金】～

大槌町の皆さまからお預かりした災害義援金は、中央募金会でとりまとめ、関係団体が設置する「災害義援金募集委員会」に全額集約し、公正・適正に被災対象地域に配分されます。

◆受付期間：令和3年7月8日～令和4年3月31日 ※まだまだ受け付けております。

◆チラシ及び募金箱の設置協力店

役場保健福祉課、マスト総合窓口、小川旅館、さんずろ家、三陸花ホテル、みずかみ大槌店、ファミリーショップやはた、セブンイレブン御社地店、大槌町文化交流センターおしゃっち、一頁堂(マスト店)、上町ふれあいセンター、地域共生ホームねまれや、(有)さとだて石油、大槌町社会福祉協議会

<中間報告>令和3年7月豪雨災害義援金 157,013 円

【お問合せ先】大槌町共同募金委員会(大槌町社会福祉協議会内)

TEL 0193-41-1511 FAX 0193-41-1512

お問合せ先：大槌町社協ボランティアセンター 0193-41-1555

この広報紙は、岩手県共同募金会から配分を受けて作成しています。